

澳門歸僑總會訪日団 東京華僑總會を訪問

去る十二月二十四日午後、折から日本を訪問中の澳門歸僑總會（マカオ帰国華僑總會）訪日団の一行が、

中国大使館の劉敬師一等書記官兼領事の案内で東京華僑總會を訪問し、廖雅彦会長、林斯福副会長、陳学全聯合總會副會長および江洋龍東華財団理事長らと親しく懇談した。

一行は黎振強会長（政協全国委員）、劉藝良常務副會長、王彬成理事長ら九名から成る訪日団で、席上、黎會長らは先ごろ祖国復帰十周年を迎えたばかりのマカオの素晴らしい発展ぶりと同会の活動について紹介した。ま

た懇談の中で、廖會長らの求めに応じてマカオの文化や観光事業についても詳しく紹介した。

廖會長らは日本華僑の歴史と現状について紹介した。双方は今回の澳門歸僑總會訪日団の訪問を

機に、相互の連携をいっそう強めていくことを申し合わせた。

【写真上】澳門歸僑總會訪日団を迎えての記念撮影、前列右より左へ劉敬師領事、廖會長、黎振強団長の諸氏

